

事務事業評価表 平成25年度

政策 明日につながる産業の振興  
 施策 工業の振興と産学官連携の推進  
 基本事業 産学官連携による技術協力ネットワークの推進

事業名 **江別経済ネットワーク事業**

[0062]

部名	経済部	事業開始年度	平成14年度	実施計画事業認定	対象
課名	商工労働課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 大学、研究機関、企業など経済ネットワークの参加者
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 多くの方が参加交流し、産学官のネットワーク構築により共同開発、共同研究でより高度な製品開発に結びつける。
	手段
	(事務事業の内容、やり方、手段) 経済ネットワークの研究会の開催

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度当初
対象指標1	経済ネットワーク参加者数	名	127	125	129	125
対象指標2						
活動指標1	経済ネットワーク例会開催回数	回	4	4	4	6
活動指標2						
成果指標1	研究成果発表会の開催数	数	4	4	4	6
成果指標2	経済ネットワーク例会への団体参加率	%	94	93	96	93
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	262	304	71	395
正職員人件費 (B)		千円	2,418	2,408	2,405	2,417
<b>総事業費 (A) + (B)</b>		千円	2,680	2,712	2,476	2,812

費用内訳	
24年度	需用費 71千円

# 事業を取り巻く環境変化

事業開始  
背景

事業を  
取り巻く  
環境変化

## 24年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業  
妥当である  
妥当性が低い

理由  
・  
根拠は？

経済ネットワーク例会の会場費などの費用は、すべて参加者の負担で賄っている。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい  
貢献度ふつう  
貢献度小さい  
基礎的事務事業

理由  
・  
根拠は？

経済ネットワークには、さまざまな分野で活躍されている方が参加しており、豊かな発想と行動力は行政では及ばないものがある。積極的な情報交換と人的交流を促進する場を継続的に確保することで、産学官連携に基づく交流や共同研究から既存企業の高度化や新製品の開発などが期待できる。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由は何ですか？

あがっている  
どちらかといえばあがっている  
あがらない

理由  
・  
根拠は？

人的交流の中から生み出されたアイデアが、企業の設備投資を促すなど地域ブランド作りへの素地ができ、食品以外の面でも地域の特色ある取り組みが期待できる。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大  
成果向上余地 中  
成果向上余地 小・なし

理由  
・  
根拠は？

これまでに、経済ネットワークから「江別ブランド事典」「江別小麦めん」などが誕生しており、今後も新たな展開の可能性が期待できる。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある  
ない

理由  
・  
根拠は？

経済ネットワークは、受益者負担・補助金活用などでプロジェクトの立ち上げ事業を進めており、これ以上の削減は考えられない。